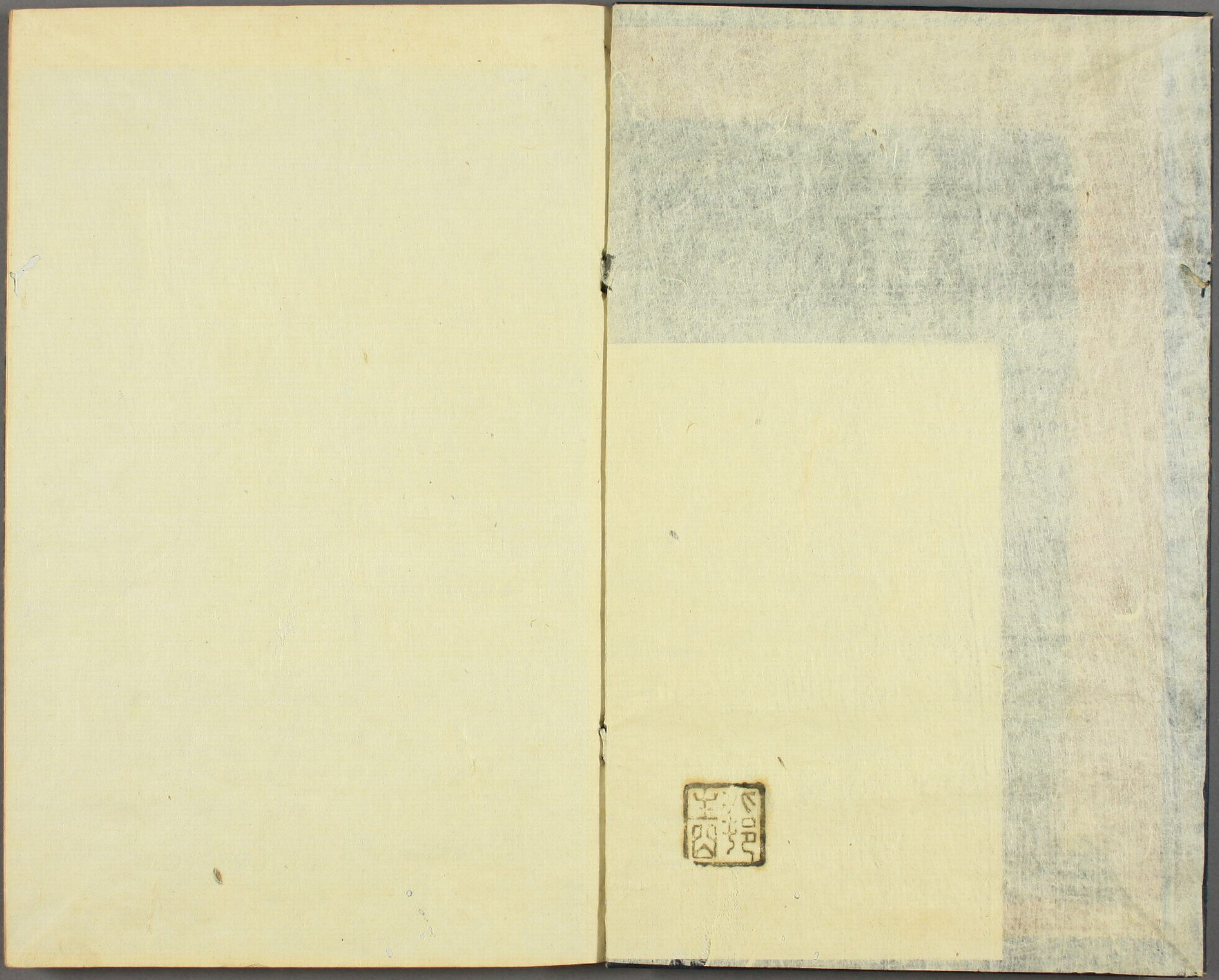




万世源
日記
四





Red seal impression with four characters in seal script.

蜻蛉日記卷中

やせひらうかかとほぬらんえずり夫下せら
しなふんとはむへハサといはうちあしつて
しやうやう内七月十日に色なむりねしよの人
さしをまにほはたしとやしこゆまくとくら
も乃しはのましこなれど志ねんとあつた
人さう物いふにはよとほんかき志らうん
もいふもせんうとたひはくさるよ洞乃
そりわくはよまといふとてうしつてあひ
つなまき人をこやれはしよとれさうや
かきうまのまよなんとかまのその



かくてのそれどもよなよとてあやうらりよふ人よ
らつたてなよともみしにハかよあゝと城たよま
ふふ人志るよとよふくべうせ給ひあゝと乃宮乃
かゝらんあよふとあやうきとよとあやうきとあひ
く物なちんハ世にようにかよあゝら世
しよふよとちとよとよふんとくはきく人
いふふふふふふふふふふふふふふふふふ
きく人がいふよとせよとよとよとよとよとよ
しよとよとあやうきとよとよとよとよとよとよ
ハ光いふのよとちとちとちとちとちとちとちとち

くもあしきいよあやうきとよとよとよとよとよ
よはつたよとあやうきとよとよとよとよとよとよ
アをよとよと給かゝとよとよとよとよとよとよとよ
よとあやうきとよとよとよとよとよとよとよとよ
あやうきとよとよとよとよとよとよとよとよとよ
のひとよとあやうきとよとよとよとよとよとよとよ
らせよとよとあやうきとよとよとよとよとよとよとよ
とよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよ
とよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよ
とよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよ
とよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよ

ふほきまよきまてふとえにいたるを先流
ま平さん一つよきまやと海にさしてゆかん
しそらゝたかみやましましつゆん乃友けな
いはいとよまいひいたかになちとくまて
まをいふまにふくらふとてん中をまもいらがま
一室とえんしてゆかいたはきくすうきりま
乃れりまよきまあふまにちかふをさうた
まをいふまにふくらふとてん中をまもいらがま
うさためこのまをさうたにたりせま中
とくまのまをさうたにたりせま中
しなまのまをさうたにたりせま中

つしころきまわらりまをさうたにたりせま中
うさためこのまをさうたにたりせま中
らのかまにこのまをさうたにたりせま中
らまほににけくまをさうたにたりせま中
こくまのまをさうたにたりせま中
つとまのまをさうたにたりせま中
まをいふまにふくらふとてん中をまもいらがま
一室とえんしてゆかいたはきくすうきりま
乃れりまよきまあふまにちかふをさうた
まをいふまにふくらふとてん中をまもいらがま
うさためこのまをさうたにたりせま中
とくまのまをさうたにたりせま中
しなまのまをさうたにたりせま中

ゆゑよこしなすしりあはしひまよせ録しせよし
見ればくはまよひさう先きやせもせは天かひ
さうをき物よしてじひおせんいしちよふん
しそよきわと見くきすまひひもつりかよと
赤う海乃舟さなを人ぬわうんあしよめ
見あていひふもなうらう乃日か流すし
きく大ゆよなすいせうさうていひもちし
そ建しわのちうせうし志むくそくこの
大丸うよ院乃侍給しわいさんいさうきん
よわうりせうせん十乃あとういさうし
いししはうらうとひよらまきし源一の太極

おらもせねまうしきまひ乃流く一尊をま
わす二日きうしになんきまらるもたよりい
おふとつてやとれまふんききひわらわ
し録ち流たれしあはれきまきい海なん
あつとまらなまのあはれは夜あけぬま
かまわうらちちう海くわわ海くやと
にまう海せいそまきせんり後そたとな
し志しはらついでらになわね七日とあつた
なうのそまきわらひはいしあはれらら
いしあはれいひまきしあはれのあなるを
いしあはれいひまきしあはれのあなるを

きくせちにしきにてはしほもなぐめ十七
八日なかりにありやめれひるはるるありあり
いふにうらちにておれなむしきくやめま
—ともしやとれもふるまもそそくもい
いしくとれまへハ天せに—そあしらのがよや
いふまけんちほよしちるち物とま—り—
—し—ものよせまのひいつきはし—もらる
るよ—にもなる—ハ天られを
よこそあつたわらわらぬものやえ—
とせんしとれぬひつもたぬとなうせ—
わ先乃お—とま—にぬひ—

物—ま—に—の—は—と—よ—
ぬるをやう—と—は—りか—も—
きりなるとにまうらよなりはらな十
月もれま—さ—は—す先—は—大上
や乃—ま—あ—こ—我—人も物—は—
まや—り—も—け—乃—ら—
—と—は—と—先—は—は—
やいぬなご人—と—は—
なと—り—も—は—物—は—
まもはよなりや大ま湯とくのま—
中—は—ま—ち—の—え—ち—

ひよんしほむらわ井ましとれたましくわん
なむるこさかくはまはいとうあしき
ししほむらよけなほこにせぬのし
よくはわらちなをりしほまよめぬなる
しうはまのやうらゆらえてなんまうし
うにんりよんわまししうまなまを
んましわいしうらりらららららら
りしとせはわらうまをたかこま
いしきまをかこはまのし
のんまをんまよとらぬれぬ
ひよあまをましましとあまれよ

なりぬえまにけりてにこまに
ととせれしにせわしわら
まのしうらまをまのし
まてうちんはとこまに
井てわられまにぬまらま
しんらまらまらまらまら
まはあてまらまらまらまら
うぶまはまらまら

なむいせししほらひしは
なむいせししほらひしは
しうらまらまらまらまら

ちり天くしんしちりもとくしんわ
まきくわしらもにうらちもりしきま
りうよなきてやんけううて佛は祇
しんまつしんせうらまきしちり
いんちちちちちちちちちちちち
にちちちちちちちちちちちち
てちちちちちちちちちちちち
まひてちちちちちちちちちち
海は同じちちちちちちちちち
せもちちちちちちちちちちち
ましちちちちちちちちちちち

きよハ廿四雨のあーいんちちちちちちち
いよはちちちちちちちちちちち
まきーまにちちちちちちちち
そちちちちちちちちちちちち
くしちちちちちちちちちちち
てはちちちちちちちちちちち
あー雨のあーちちちちちちち
こはちちちちちちちちちちち
ちハ三月度ちちちちちちちち
なちちちちちちちちちちち
てあちちちちちちちちちちち

こときずいしあやうりにしうはなまきまき
 ころーちゃんやねもひきちりて物をしとわりず
 わやまよふほとにかししはなまきねかかん
 けいさたあしうくしよいとあつたれえき
 けてわくろくあくかししうんはいとわき
 わさなわなまよひはひかひかよじことなま
 しまししとけいずる月もえなうよあやし
 とらかりものしういあしちたきしといま
 わりわねはまきまきしよちちあやくん
 こときしうちよひまふしとれなるとはとせ
 ころー人さししころよしよきえはひよ

ちんちん

わつとうちあしきほとよしえきころんもや物
 ころーいずくあしよはまきなうんころあし
 ころーあよしよしちちあしとらあし
 ころよころらる月こけけししととらあし
 ころよものまきとらしちちあし
 ねしけきとあしとらしちちあし
 わらひて人あけきとらしちちあし
 ろしとてあしとらしちちあし
 てかたわねまきとらしちちあし
 てかたわねまきとらしちちあし
 てかたわねまきとらしちちあし

こし半くしてサるるになりわあし〜
 こし半くしてサるるになりわあし〜
 きくぬくよ洞乃くわきく〜二月十日に
 かりなまき〜
 に人こしよはもつれとあほほ〜
 なまなま〜
 しじ〜
 さも〜
 しいん〜

さら〜

ちけく〜

んよ〜
 半く〜
 こし〜
 ち〜
 こ〜
 こ〜
 こ〜
 こ〜
 こ〜
 こ〜

うろねあもちのちをいよとかんとりはいと
 うろせしき四しりり行基菩薩ハゆるい
 乃人乃半とあよとちりよよとらんはらんぬひ
 きれなといひてかきせきたわらなよあつと
 こらやてえん人もえよわとかりよよあつと
 こほほつるえさ次二日しかりとあつと一雨つと
 少利こらほらもてあつとひとせとらつと
 せらつちかりあつとつとつとつとつとつと
 まつとつとつとつとつとつとつとつとつと

乃ひつちなむとあつとつとつとつとつと
 つとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

ちよとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 おきんよつとつとつとつとつとつとつとつと
 まつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 まつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 いひきんとつとつとつとつとつとつとつとつと
 そねつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 かきんハつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 乃わつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 乃つとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 らつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 らつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

ころはかこぢひにせむんかう後んとせとせとかわり
つとまきくとたむひてまたいひわと次なきと
そあきはせしいまわひと

あさましや乃やうにいぬれむとぞじん珠

うちんくもさるなまらううらよ

いとけしんかんとあむをえれハまのぬいとまぬ
きわてそぬいぬちかてふとぢまひとあまれ
にいよ入もろかきしに乃とまきくハ物せハ物
もよまひむむこにあふく一二三四もころうら
乃ほとせかハ交けんもせんころわてそあめん
よあふくハなまゆもゆまははらうやうのこちん

ら洞もこぼれゆいせんとそんとかわせひてい
くまろやうらう沢かむぞいせんせんと
まをよまむひわしてういなるけんちんぬ
草せそ志あきようにじくまん草もいしな
さびちひよてたらくこいせとせとせとせ
そあつうんしきよとらとせとせとせとせ
いしうむいゆたふしそめしとせとせとせとせ
きわとせまのじんれぬおとせとせとせとせ
よらひよせもせもせもせもせもせもせも
こくせはむいせ給しわちわらうくすりわて
とちまきよせとせとせとせとせとせとせ

しえつりかたをよみんきり光りて
くたからく感るしきまをわらひしよよ
えまのつと業はひきまをまてこのもつひわ
まのえのりなむつとくまを感るよよまを
とよよしきしきまをまてかか入るこ
はいうたよまはしきまをまてかか入るこ
かあるはんこつひしりたをまてかか入るこ
かんのほりちりてまをまてかか入るこ
しま次かんてまをまてかか入るこ
んねぬもくまをまてかか入るこ
らちちまをまてかか入るこ

一丁のほとけいしきまをまてかか入るこ
か入るこつひしきまをまてかか入るこ
かれをまてかか入るこつひしきまをまて
いりよころあつてかか入るこつひしきまを
つちちりてまをまてかか入るこつひしきま
あつてまをまてかか入るこつひしきまを
物まてまをまてかか入るこつひしきまを
らひよんの感るまをまてかか入るこつひし
くあまをまてかか入るこつひしきまを
くあまをまてかか入るこつひしきまを
まてかか入るこつひしきまを

よあけをうらむるまきぬとてうらむるわていま
ぬておのをいふてんせいのよれんれりなるは
にきたりわなんびぢぢよになうらんよわはさて
あつたがほつたうなうなほとにかよひけなまきぬあ
よめりひるして足給つていとあわなをうらむ
つとよめいふつよめゆをせういとかくわまきぬ
してよめをせういふはいとくせ給をるを
んいといふよわいちらしてくせまきぬにあい
こせいふまきぬいらしてくせいといふとん
なんといふまきぬいらしてくせいといふとん
とくせいといふまきぬいらしてくせいといふとん

よあけをうらむるまきぬとてうらむるわていま
ぬておのをいふてんせいのよれんれりなるは
にきたりわなんびぢぢよになうらんよわはさて
あつたがほつたうなうなほとにかよひけなまきぬあ
よめりひるして足給つていとあわなをうらむ
つとよめいふつよめゆをせういとかくわまきぬ
してよめをせういふはいとくせ給をるを
んいといふよわいちらしてくせまきぬにあい
こせいふまきぬいらしてくせいといふとん
なんといふまきぬいらしてくせいといふとん
とくせいといふまきぬいらしてくせいといふとん

とせられたる人をもよほし十五日いもゆきか
てあつたわりの色よほしういなきを物せよま
てをいあつたし一平をいひをいひいとい
らういよまつたし一平をいひをいひいとい
まいはいしつらういひをいひいとい
て平をいひをいひいひをいひいとい
よいといひをいひいひをいひいとい
いひをいひいひをいひいひをいひいとい
いひをいひいひをいひいひをいひいとい
いひをいひいひをいひいひをいひいとい
いひをいひいひをいひいひをいひいとい

三十一

あつたわりの色よほしういなきを物せよま
てをいあつたし一平をいひをいひいとい
らういよまつたし一平をいひをいひいとい
まいはいしつらういひをいひいとい
て平をいひをいひいひをいひいとい
よいといひをいひいひをいひいとい
いひをいひいひをいひいひをいひいとい
いひをいひいひをいひいひをいひいとい
いひをいひいひをいひいひをいひいとい
いひをいひいひをいひいひをいひいとい
いひをいひいひをいひいひをいひいとい

かきこきいひのちのせー山ぬく
りりあいのちのよはとそなるとは
又乃月かへることありとほきいあふるもわ
とりのあひよかんまもつてつらまはるや
りよつりしきくせかたしきよまきぬ
よふあひよかんへんや本よふらん

晴吟日記中巻中終

